

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

アセットの潜在力を最大限に引き出し社会価値を創出することで、持続可能で豊かな未来に貢献

当期純利益
1,600億円

ROA
1.5%程度

ROE
10%程度

Scope1,2削減
55%削減

② 中長期の経営戦略

1. ビジネスモデルの進化・積層化

5つの事業分類に基づき、事業ポートフォリオ変革と中長期的なアセット質転換を推進

3. 組織横断重要テーマ

水素・EV・物流・脱炭素ソリューションで社会的課題解決と社会価値創造を同時実現

2. セグメント別事業戦略

カスタマーソリューション・海外地域・環境エネルギー・航空・ロジスティクス・不動産・モビリティで個別戦略を展開

4. 経営基盤強化戦略

人材育成・財務基盤強化・ガバナンス強化・ステークホルダーエンゲージメント向上

③ 対処すべき課題

① 外部環境への適応

- ・地政学・気候変動・テクノロジー・人口動態といったメガトレンドへの対応
- ・従来型リース・ファイナンスから社会的課題解決へのシフト
- ・産業レベルのビジネスモデルチェンジへの迅速対応

② 人材育成と意識改革

- ・職務類型ごとの適性人員把握と人材マッチング充足度の可視化
- ・ビジネスモデル進化に必要な全社員の意識改革実施
- ・エンゲージメント維持・向上と月平均残業14時間以下の実現

③ 経営基盤の強靱化と価値創造

- ・ALM最適化と米国CMS導入によるリスク管理高度化
- ・配当後キャッシュフローの中長期的積極投資
- ・バランスシート最適化で資本収益性と財務健全性の両立

面接で使えるポイント

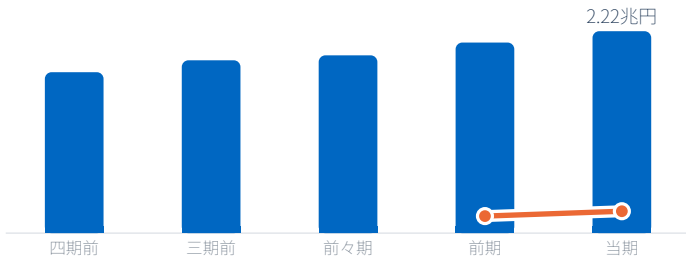
- ・「未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター」という10年後のありたい姿に向け、3次の中期経営計画で段階的成長を目指す姿勢
- ・水素・EV・物流・脱炭素ソリューションの4つの組織横断テーマで社会的課題解決を事業化する戦略
- ・2026年3月期に親会社株主に帰属する当期純利益1,600億円達成のため、ビジネスモデル進化と全社員の意識改革を同時推進

三菱H C キャピタル株式会社

その他金融業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 …

証券コード 8593

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高

2.22兆円

営業利益率

10.9%

財務健康度

36点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,029万円

その他金融業内 5位/38社

平均年齢

40.6歳

その他金融業内 21位/38社

平均勤続

15.0年

その他金融業内 8位/38社

女性管理職

22.1%

その他金融業内 12位/27社

男性育休

81.7%

その他金融業内 15位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 三菱H C キャピタル、AC長野パルセイロ、VAIOの3社が連携

三菱H C キャピタル株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigy-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

